

## AAFC 例会発表

2022年11月27日

田中

## MIKO のヒットパレード

今日は弘田三枝子のヒット曲の数々をお楽しみください。  
ジャズヴォーカル女性歌手として日本のジャズ・ポップス音楽界に貴重な存在として活躍してきました。

MIKO は1947年に東京都で生まれました。中学生の頃からすでに米軍キャンプ

でジャズ・ポップスを歌っていたと言われています。2020年に亡くなるまでの活動期間

で、数多くのヒット曲を送り出してきました。

メジャーデビューは1961年の【子供ぢやないの】東芝音楽工業、この時14歳です。

翌年は【ヴァケイション】が大ヒット。

このころはコニーフランシスなどアメリカンポップスをカバーしています。

1965年には「ニューポートジャズフェスティバル」に招待され、現地ジャズプレーヤー達と共演し、NYに移ってアルバム「ニューヨークのミコ」を制作しました。Sunny 他が録音されています。

1960年代中盤は小規模なジャズライブ活動をしていましたが、1969年に発表した【人形の家】でカムバックを果たしました。

その後もポップス・歌謡曲・ジャズのLP、CDを継続して出していました。



今回は MIKO の魅力を

- ① 歌謡曲
- ② アメリカンポップス
- ③ ジャズ

に分けてお聴きください。



① 歌謡曲

- \* 涙のドライブ
- \* あなたがいなくても
- \* 駅
- \* 渚のうわさ

② アメリカンポップス

- \* 悲しき街角 (Runaway)
- \* 悲しき雨音 (Rhythm of the Rain)
- \* マスカレード (This Masquerade)
- \* ビー・マイ・ベイビー (Be My Baby)

③ ジャズ

- \* サニー (Sunny)
- \* アイム・カミン・ホーム・ベイビー (I'm Comin' Home Baby)
- \* キャラバン (Caravan)
- \* いそしぎ (The Shadow of Your Smile)

もともとがジャズシンガーなので、歌謡曲も、ポップスもジャズ風味がついているところが聴きどころでしょうか。

以上



次に主なオリジナルアルバムリストを拾ってみました。

- ヒット・キット・パレード(1962年2月/JPO-1150) [モノラル](#)
- ニューヨークのミコ(1966年1月20日/JPS-5072)
- ポップス・デラックス・シリーズ(1968年2月10日/JDX-10)
- 弘田三枝子 70～ポピュラー・ビッグ・ヒッツ(1970年2月10日/JPS-5203)
- 愛の歌～弘田三枝子オリジナル・アルバム(1972年12月10日/JDX-92)
- JAZZ TIME～弘田三枝子ベスト・ジャズ・アルバム(1973年7月25日/NCB-7022)
- イエスタデイ・ワンス・モア(1974年10月1日/4PX-9010)4ch ステレオ
- My Funny Valentine(1976年5月10日/SP-7008)
- 華麗度 ～ MICO is Kaleidoscope(1998年6月25日/MSI-10121)
- 弘田三枝子・これくしょん マイ・メモリー～ミコより愛をこめて(2001年8月1日/COCP-31461/6(CD))歌手生活40周年記念企画盤
- 弘田三枝子 MICO TODAY(2005年10月25日・2013年5月25日廉価版/MSIL-190/1(CD))新録音盤。
- 弘田三枝子 グレイテスト・ヒッツ Go Go MICO(2015年12月16日/COCP-39369-70(CD))デビュー55周年記念
- ゴールデン☆ベスト 弘田三枝子(2019年2月20日/COCP-40706(CD))ラスト・アルバムとなった
- 弘田三枝子・プレミアム(2022年2月23日/COZP-1872-8(CD6枚+特典DVD))特典DVDにNHK紅白歌合戦の現存フィルム

